



幌延町広報誌

ほろのべの恋

2018年12月号
(平成30年) 12月号
NO.650

祝幌延町
開基120年



▲認定こども園おゆうぎ会

- ほろのべ議会だより第106号
- 幌延町長に野々村 仁 氏 再選
- 年末年始の公共機関等休業
- 北海道胆振東部地震の被災地へ職員を派遣しました
- 12月は“町税等の徴収強化月間”です！
- 平成31年成人式
- 第3回工作実験教室『ジェルキャンドルをつくろう』
- トナカイホワイトフェスタ2018
- 町内タクシー事業者による貨客混載輸送の開始について



▲問寒別へき地保育所おゆうぎ会



ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第106号

発行 北海道幌延町議会

編集 議会報編集委員会

電話 01632-5-1111

FAX 01632-5-2971

平成 29 年度 決算を認定

西澤 裕之氏を決算審査特別委員長に選任し、2日間の審査の結果、原案どおり認定されました。一般会計・特別会計の決算額については、10月号の「ほろのべの窓」でお知らせしておりますので、質疑応答について掲載します。

一般会計

◆歳出

《総務費》

植村委員 移住定住促進住宅整備事業の利用状況は。

角山主幹 月に1回程度の利用がある。

鷺見委員 ふるさと納税の還元率で、国からの指摘はなかったのか。

角山主幹 振興局を通して通達があり、3割以内には正しい。

齋賀委員 創生事業で、地元材料を使って、ワイン樽を作ることになっているが、ブドウも作るという話になっているのか。

角山主幹 木材を切り出し、製材にし、乾燥させる作業をしている。

ブドウの試験栽培については、トナカイ観光牧場株式会社で進めている。

植村委員 沿岸バスに対する補助金が徐々に値上がりしているが何故か。

山下主幹 運転手不足による要員確保のため、賃金を上げているのが主な要因。

今後が増えて行くことが想定される。

《民生費》

吉原委員 婚活支援事業は、今どのようなことをしているか。

村上主幹 協議会を立ち上げ、イベントを実施している。事業費を助成しており、29年度は約38万円。

《農林水産費費》

植村委員 生乳生産拡大事業の855万円の支出は、新規就農者に対する補助か。

新野係長 既存の酪農家に対する補助。7戸で43頭を導入している。

齋賀委員 酪農支援対策事業で、組合負担の半分を補助しているが、農協、コントラ事業運営協議会のどちらに支出しているのか。

新野係長 農業協同組合に補助を出している。

《商工費》

植村委員 経営力向上促進事業では、何件の申し込みがあったのか。

伊山係長 10件の利用。

《土木費》

鷺見委員 町道幌延下沼線の工事を早めることはできないのか。

島田課長 町の予算の状況に応じて進めていく。

《消防費》

植村委員 耐震診断助成制度が利用されていないが、今後も必要か。

飯田課長 利用はされていないが、改修の為に引き続き制度は残したいと思う。



幌延町金田心象書道美術館

《教育費》

植村委員 書の研究事業で、書道の指導に対しての謝礼かと思われるが、何回見えられたのか。

戸川主幹 10回を予定したが、先生の都合で8回の指導をしていただいた。

吉原委員 学校のアスベスト対策事業はまだ続くのか。
伊藤次長 学校教育財産関係については、全て終了した。

◆歳入

吉原委員 町民税から軽自動車税まで、不納欠損、歳入未納があり、5年以上経過したものは時効になるが、どういう方法で回収するのか。

村元係長 5年経過する前に不納欠損にならないよう、回収に努めている。

鷺見委員 マイナンバーの利用状況は。

村上主幹 発行枚数は2百50、60枚程度。PRをしているが、もう少し時間が必要。

斎賀委員 問寒別生涯学習センター使用料の内訳は。

美術館使用料には、金田心象美術館の他、郷土資料館の入館料は含まれていないのか。

三田地所長 使用料のほとんどは、葬儀によるもの。

戸川主幹 資料館は無料で、美術館のみとなっている。

◆総括

鷺見委員 町として観光をどの様に進めようとしているのか。

野々村町長 利尻・礼文・サロベツ国立公園の南玄関口と言えるようにしていきたい。

無量谷委員 LEDの街路灯の比率と今後、市街地以外のLED化も進めていくのか。

角山主幹 市街では、3割程度LED化が進んでいる。市街地以外も順次考えていきたい。

吉原委員 公衆浴場はかなりの老朽化している。この先、どう考えているのか。

野々村町長 内部協議を今している最中なので、もう少しばかり時間がほしい。

植村委員 教育環境の充実の中で、監視カメラの稼働とあるが、学校敷地内のカメラを指しているのか。

伊藤次長 3校全てに監視カメラがあり、玄関に設置している。

鷺見委員 交流施設と防災の複合施設を考えていると言っているが、町長として、

方向性を出す時期が来ているが、どうなっているか。
野々村町長 公共施設としてどうあるべきかを含めて、観光振興計画の中で、議論をしているので、もう少し時間がほしい。

斎賀委員 今後、どのように秘境駅を生かしていくのか。

野々村町長 今までの積み重ねがどう評価されていくか、31年度末までに集計した中で考えていきたい。

植村委員 各事業、補助事業が沢山ありすぎて、わかりにくい。町を訪れた人にわかりやすく事業を説明し



糠南駅

てほしい。
野々村町長 今後、皆様と議論をしながら、どういう見せ方をしていくかも含めてやっていきたい。

特別会計（抜粋）

〈診療所会計〉

植村委員 一般職の日直、特殊勤務手当が1千8百万円増えているが、どういう理由か。

若本事務次長 平成28年度は、浦山医師が年度の途中から嘱託医となり、半年分が賃金の中に特殊勤務手当として含まれていたが、平成29年度は、田川医師分の1年分が職員手当として支出されている。

高橋委員 去年までは、孝仁会の寄附金50万円があったが、今年度は無くなったのか。

若本事務次長 医師業務強化費の謝礼から54万円が支出されている。

植村委員 今までの医事システムから、オーダリングシステムを導入し、1千3

百万円ほど計上されているが、どのようなシステムなのか。
若本事務次長 医師の指示がラベルシートに印刷され、会計時に反映されるシステム。

植村委員 電子カルテは導入されているのか。
若本事務次長 まだ、導入していない。

植村委員 診療所収入が平成28年度に比べると5百30万円程増えているが、入院収入では2百50万円程減額となっている。考えられる要因は何か。

若本事務次長 直近の入院患者が減少し、入院期間も短くなっている。

植村委員 診療所のベッド数が19床になったが、今の状況はどうなっているのか。

野々村町長 救急ベッドが4床。長期入院できるベッドが15床だが、まだ半数にも満たない状況。包括ケアシステムに移行していくときに、どういう使い方ができるかも含めて考えていく。

高橋委員 一般会計からの繰入金だが、毎年増えている。



幌延町立診療所

ている。診療所への繰入が1億9千9百万、こざくら荘にも3千万近くにもなっているが、これからの方向についてどう考えているのか。

岩川副町長 診療所会計の赤字額は年々増加している。心療内科も新たに設けられ、医師の交代もあり、田川医師の評判も良いので、外来の収入も伸びてきている。収入増に向けてもう少し時間がほしい。

地域の課題をとらえて

5氏が一般質問



西澤 裕之
・災害対策と地域防災計画について

質問 今回のような災害時には、役場ロビーにテレビを視聴できる環境と、ホワイトボード等を使用し、情報を掲示する、「(仮称)災害情報センター」を設置する考えはないのか。

町長 停電時役場内でもテレビを見ることはできず、情報収集はインターネット通信等で行っていた。これは、非常用電源により機能する部分が限られた一部であったため、今後改善していかなければならない。情報収集するための総合的な場所も必要だという意見もあり、そのあり方を考えていかなければならないと感じている。

質問 停電時、IP告知端末機は使用できないため、防災無線があったのではないか。上手く機能していなかったと思うが。

では、複数の系統から情報が入る形を取らなければならないと反省している。

質問 今回の経験から、今後が必要だと考えるか。

町長 役場や各公共施設のホームページ、各種ネットワーク機器を動かすための電源確保と、情報発信及び周知の方法について検討する必要があると考えている。また、備蓄品は計画どおり購入しているが、食料品や照明器具、発電機、暖房機などの充実や町民の防災意識の向上、防災訓練の実施、町内外関係機関や協定を結んでいる会社との協力、連携などについて必要であると考えている。



町長 IP告知端末機については、更新時期を迎え、機種の変更を協議している。その中で、停電時でも使用できるものがあると確認できており、今後停電時でも利用できるかと思う。

防災無線の中継塔は、停電時は蓄電池で動いている。寿命は7〜8時間で、それを過ぎてしまい、鮮明に伝えることができなかつた。災害時の情報伝達について



富樫 直敏

・大規模停電対策について ・酪農対策について

大規模停電について

質問 大規模停電に対応するため、基幹産業である酪農の被害を最小限に食い止めるため、搾乳農家に電源切替盤の設置に必要な費用の助成を検討できないか。

町長 非常時における、電力確保に向けた検討を進めていく上で、どのような方法が一番良いのか、農家の皆さんや農協と共に考えていきたい。

質問 IP告知端末機について、停電時でも、情報発信できる機種の導入の検討はしないのか。

町長 告知端末機の保守期限は、平成31年12月となっているので、平成31年度中の機器更新を検討している。

停電時でも、情報の発信ができる告知システムを導入したい。

酪農対策について

質問 酪農生産強化のために、初妊牛の購入に対して、20万円の助成がされているが、この制度を黒毛和牛の初妊牛にも適用できないのか。

町長 後継者不足等、これから地域農業の生産力の低下を防ぎ、施設、農地等の有効利用を図っていくため、経営転換に取り組んでいく必要がある。

今後、肉用牛の生産をどのように進めていくのか、農協と検討して、町へ支援要望を提案してほしい。



無量谷 隆

・名林公園の管理、利活用について ・北海道胆振東部地震の教訓について

名林公園の管理、利活用について

質問 町の中心部に貴重な原始林があるが、適正な管理、保存が必要である。倒木を防ぐには、どのような対策を考えているか。そして、学習的観点からも木に名札を付けはどうか。

また、道立林業試験場の樹木診断の結果はどうだったか。

町長 樹木が末永く存続できるように、検討を進める。木の枝の管理、根の張りを保つために下草、落ち葉の堆肥化は専門家の指導を仰ぎながら検討を進める。

名札は代表的な樹木に付け、伐採する木の根元の高さは検討する。

樹木診断の調査報告については、のちほど報告する。

北海道胆振東部地震に教訓について

質問 本町においても、酪農家を中心として、電力供給に大きな影響が出た。そのため、自家発電機の購入を助成してはどうか。

本町の停電によって、光通信でテレビ情報を見ることができなかったが何故か。

町長 今回の長時間停電により、発電機を所有している農家が、非常に少ないことが判明した。今後、農家や農協の皆さんと協議を進めながら検討していく。

光ケーブルによるテレビ放送については、町内の難視聴世帯へ送信しているセクターへ給電されなくなったため、テレビ放送が再送信できなくなった。バックアップ電源を増強できるか調査する。



悟 見

・北海道胆振東部地震について ・風車について

胆振東部地震について

質問 9月6日、7日の牛乳は、受け入れ体制が整わず、破棄せざるを得なかった。町としてはどう考えているか。

町長 全道各地の酪農家と

同様に、牛乳は廃棄することになった。今後の対策は、農協と協議を進めながら、検討したい。

質問 乳房炎などの疾病が発生しているが、どういう対策が考えられるか。

町長 関係機関と協議をしたい。

質問 幌延町の避難所の設置状況と利用者数は。

町長 幌延町保健センターと問寒別生涯学習センターの2カ所に避難所を開設した。利用者は、幌延では6日時点で6名。7日は1名。問寒別での利用者はいない。

質問 IP電話を利用し、情報発信をする方法はないのか。

町長 稚内市では、FMワッペーを利用して、給水場所や携帯電話の充電、公共施設の情報が発信されたと聞いている。IP告知端末機を作動するには、電源が必要となるため、停電時でも利用できるシステムを考えている。

質問 冬の震災対策はどう考えてるか。

町長 防寒対策と備蓄品の整備が必要だと考えている。

風車について

質問 稚内から中川までの送電線工事が行われているが、豊富町で造られる蓄電



施設は、ブラックアウトに耐えられるのか。

町長 ブラックアウトは、北電の電力供給の大半を担う苫東厚真火力発電所が停止したことにより、電力の需給バランスを保つことができなくなったことよって起こったもので、北電の系統に接続していれば、蓄電設備の有無に関わらず、停止する。

質問 幌延町の風車は、今回のブラックアウトでどうなったのか。

町長 幌延のオトンルイ風車は、停電に伴い稼働を停止した。

質問 今後、オトンルイ風車はどう更新されるのか。

町長 現行の送電容量2万1千kWは変えず、建替えを検討している。平成39年度までに事業を開始する。



齋賀 弘孝

・立命館慶祥高等学校と
の地方創生人材育成制
度の連携協定について

質問 連携協定の情報発信は、教育委員会がホームページ上で行っているのにも関わらず、町長から行政報告されているのは何故か。

総務財政課長 高校と町長との協定のため、町長から行政報告をした。実務的なことは、教育委員会が担当する。

質問 由仁町は、町と由仁町教育委員会と3者協定だが、幌延町はどうなっているのか。

総務財政課長 協定書では、町長と校長の2者の協定である。

質問 地方創生人材育成制度とは、どのような制度か。

教育長 入学してから、その地域で貢献していくような人材を育成していく制度である。

質問 地方創生人材派遣制度も活用されるのか。

教育長 立命館高等学校や立命館大学の教職員、学生、大学院生により、町の地域活性化に関する取り組みの協力についても、期待できると考えている。

町長 まだ、これから先の話であり、この制度で連携を図りながら、今後詰めて行く中で、期待感を持っている。

質問 ホームページでは、「連携協定し、地域活性化に関する取り組み等を活用することができます」と断言しているが、協力を得られることは確定していないのか。

教育長 あくまでも、そういう取組みもあるという説明を受けている。

質問 協定はまだこれから詰めていく段階なのか。

また、希望者がいた場合の選定基準は。

教育長 内容は、平成31年3月以降の幌延町内中学校を卒業見込みの者、学力、人物ともに優れ、幌延町長が推薦する者。内申点がBランク以上で、当学校のみを志望する者。1自治体年間1名としている。

質問 教育委員会と学校の間で、協定に関する会議は行われていないのか。

教育長 校長会の時に触れさせていただき、文書、パンフレット等を配布している。

質問 中学校3年生の子どもに、どのように幌延のためという考えを持ってもらい、推薦入学してもらうか考えはあるのか。

教育長 学校では、保護者会、進路説明会、三者面談で、その学年に応じた説明をしてもらう。校長会でも進め方について、協議して取り組んでいきたい。



第5回 幌延町議会 定例会

9月18日～19日

○各会計歳入歳出決算

一般会計から下水道事業特別会計までの7会計の決算総額は、歳入決算額66億4千9百67万7千円、歳出決算額は64億6千7百43万7千円で、翌年度繰越財源額を控除した差引残額は、1億7千3百43万3千円となった。

平成28年度との対比では、歳入が8.9%の増、歳出では、10.2%の増になった。

歳入の主なものは、問寒別分遣所整備事業に伴う地方債の増額によるもの。歳出では、問寒別分遣所整備事業による北留萌消防組合負担金、役場庁舎改修事業及び産業地域振興センター事業による増額等が主要因。

○各会計の地方債現在高

平成29年度末現在高は、44億2千9百41万4千円で、前年度より2億1千9百49万8千円減少した。なお、

29年度現在高のうち、72.6%に当たる32億1千5百37万3千円は、交付税算入されるため、将来負担の地方債現在高は12億1千4百4万1千円となっている。

○各会計基金残高

平成29年度末現在高は、前年度より1億7千4百39万4千円減少して、51億6千9百89万4千円となっており、平成29年度北海道市町村備荒資金組合納付金現在高は、前年度より8百15万6千円増加し、17億8千5百97万2千円となっている。

○税込総額

6億7千4百87万円で、前年度比2千9百56万8千円で、4.2%の減。徴収率は前年度同様99.2%。

○ふるさと応援寄附金

平成29年度の寄付金総額は1千86件で、1千1百28万7千円。そのうち6百38万7千円を返礼品経費等に充当し、残高4百90万円をふるさと応援基金に積み立てており、平成29年度末現在高は6百6万円となっている。

行政報告—町長

北海道胆振東部地震について。9月6日午前3時7分に発生した「北海道東部地震」によってお亡くなりなられた皆様にご冥福をお祈りするとともに、この地震と停電により被災された方々に心よりお見舞いを申しあげる。

幌延町は、地震による直接の被害は無かったが、地震に伴い、北海道全域が停電となり、発生直後より、理事者、防災担当課職員、関係課長が順次役場に登庁し、午前3時40分に非常配備体制を取った。6日午後2時10分には、停電が長期化するとの情報から、災害対策本部を設置し、午後4時に保健センターと問寒別生涯学習センターの2カ所に避難所を開設し、保健センターに6人の方が避難した。

この度の停電は、北海道全域に及ぶ大規模停電となり、今回の地震と停電を通じて、学んだことを今後の備えに活かしていきたい。

教育行政報告—教育長

○学校教育

1学期、夏休みを計画的に過ごし、子どもたち全員が元気に2学期の学校生活を送っている。

中学校体育文化連盟主催の全道陸上大会に出場した生徒の結果だが、幌延中学校3年生畠山幸さん、2年生の金田陵希君、1年生の村上湖太君の3名とも自己記録を更新した。剣道は、幌延中学校3年の臺川美咲さんが、女子個人戦に出場し、ベスト8となった。バドミントンは、幌延中学校3年の古草凌雅君と早坂晴君が、男子ダブルスに出場し、善戦した。

北海道吹奏楽コンクール稚内地区大会において、幌延中学校吹奏楽部がC編成の部で、見事、金賞を受賞し、11年ぶりの全道大会出場を決め、8月31日に札幌市Kitararaで開催された全道大会では、銅賞を受賞した。

本年度計画している事業は、天候にも恵まれ、ほぼ予定通り実施している。

編集後記

初雪が降り、冬へまっしぐらという季節になってきました。

さて、町議会では、開かれた議会を目指して、必死に議会改革の議論を進めています。これといった具体的な改革案がなかなか見いだせず、議員全員で頭を悩ませています。

開かれた議会改革の一つの取り組みとして、昨年度から町のホームページにおいて、議会の会議録を公開しています。町民の皆様には、是非ご利用いただきたいと思えます。ご家庭において、インターネットの環境がない場合でも、生涯学習センターで町のホームページが閲覧できます。パソコン操作が苦手な方は、職員にお気軽にお声掛けいただきたいと思えます。今後とも町議会では、開かれた議会を目指して議論を進めて参ります。町民皆様のご意見をお寄せください。

編集委員長 西澤 裕之
副委員長 鷺見 悟
委員 高橋 秀之
吉原 哲男



幌延町長に 野々村 仁 氏 再選

任期満了に伴う幌延町長選挙は、11月13日に告示され現職の野々村 仁氏のほかに立候補の届出がなかったため、野々村 仁氏が無投票で再選しました。

年末年始の公共機関等休業

機関・施設名	休業期間	機関・施設名	休業期間
役 場	12月29日(土)から1月6日(日)まで ※御用始めは1月7日(月)となります。	金田心象書道美術館	12月30日(日)から1月5日(土)まで
問寒別出張所	12月29日(土)から1月6日(日)まで	認定こども園 問寒別へき地保育所	12月29日(土)から1月6日(日)まで
幌延町生涯学習センター 問寒別生涯学習センター	12月30日(日)から1月6日(日)まで	東ヶ丘スキー場	12月31日(月)から1月3日(木)まで
総合体育館	12月30日(日)から1月6日(日)まで	ごみ収集業務	12月29日(土)から1月3日(木)まで ※収集、処理業務は1月4日(金)から ※事務業務は1月7日(月)からとなります。
町立診療所 患者輸送車	12月29日(土)から1月6日(日)まで ※救急患者は、休診中でも受け付けします。		
町立歯科診療所	12月28日(金)正午から1月4日(金)まで	し尿収集業務	12月29日(土)から1月3日(木)まで ※収集、処理業務は1月4日(金)から ※事務業務は1月7日(月)からとなります。
農村環境改善センター	12月29日(土)から1月6日(日)まで	スクールバス	幌延 12月29日(土)から1月6日(日)まで
保健センター	12月29日(土)から1月6日(日)まで		問寒別 12月29日(土)から1月6日(日)まで
幌延町移住情報 PR支援センター 「ホロカル」	12月31日(月)から1月5日(土)まで ※町民乗車票の販売については、 12月29日(土)から1月6日(日)まで休業となります。	老人福祉センター 公衆浴場	1月1日(火)から1月2日(水)まで ※12月31日(月)は、午後1時から午後6時(最終受付:午後5時)まで営業します。

北海道胆振東部地震の被災地へ職員を派遣しました

9月6日に発生した「平成30年北海道胆振東部地震」により、家屋倒壊や土砂崩れなどの甚大な被害を受けた厚真町、安平町、むかわ町の3町から、北海道の災害対策本部に役場機能等を担う職員の派遣要請があり、本町は宗谷総合振興局から職員の応援要請を受け、10月9日(火)～13日(土)の5日間、総務財政課総務グループ伊藤主幹と教育委員会社会教育グループ岩田主事の2人の職員を厚真町に派遣しました。

厚真町では、住宅等の被害の程度を証明する「罹災証明書」の交付事務を担当し、被害を受けた方から直接お話を伺ったり、被害を受けた住宅等の写真を確認し、証明書を交付しました。住民からは「まさか自分が住んでいる町でこんなに大きな地震が起きるとは夢にも思わなかった。」などの話を聞き、2人は「災害はいつ、どこで起きるかわからない。災害が起きたらこれまでの生活が激変し、本当に大変なことになる。」と実感したそうです。

また、日頃から災害に備えることが重要で、家庭で非常食や照明器具・防寒対策用品を用意するなど、自分でできることはやっておくべきと強く感じ、防災対策に取り組んでいきたいと話していました。

= 12月は“町税等の徴収強化月間”です！ =

町では、12月を「町税等徴収強化月間」と定め、町税（道町民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税）および使用料（介護保険料、後期高齢者医療保険料、保育料、公営住宅料、水道料、下水道料、医療費）などの徴収強化に取り組みます。

【徴収強化の取り組み】

○納付相談

町税や使用料などを納期限内に納めることが困難な方からの相談を随時受け付けていますので、決してそのままにせず、必ずご相談ください。

○催告と訪問徴収

納期を過ぎても納付されていない方に対し、文書・電話による催告、自宅や勤務先へ訪問します。

○滞納処分等の強化

町税および使用料などの滞納者で、完納に向けた納付意思が認められない方、納付誓約等を守らない方などに対して、勤務先への給与調査、官公署や金融機関への財産調査等を実施し、差し押さえ等の滞納処分を行います。

【納付書をご確認ください】

お手元の納付書などをご確認いただき、まだ納付されていない町税や使用料などがありましたら、お早めに納付ください。

なお、納付書が見当たらない場合は、役場までお越しいただくか、電話でお問い合わせください。

【便利で確実な口座振替をご利用ください】

口座振替は、預金口座から町税や使用料などが各納期限に合わせて自動的に引き落とされますので、日中お忙しい方や不在がちな方などに大変便利です。

口座振替を希望される方は、預金通帳と通帳使用印をご持参の上、町内の金融機関でお申し込みください。

納付に関する相談は随時受け付けていますので、お早めにご相談ください。

【お問い合わせ先】

・税金	住民生活課 税務保険グループ税務係	電話：5-1115	告知端末機：5-8812
・後期高齢者医療保険料	住民生活課 税務保険グループ保険係	電話：5-1115	告知端末機：5-8812
・介護保険料	保健福祉課 戸籍福祉グループ社会福祉係	電話：5-1115	告知端末機：5-8813
・公営住宅料	建設管理課 管理グループ管理係	電話：5-1116	告知端末機：5-8816
・水道料、下水道料	建設管理課 管理グループ上下水道係	電話：5-1116	告知端末機：5-8816
・保育料	認定こども園	電話：5-1254	告知端末機：5-1254
・医療費	町立診療所	電話：5-1221	告知端末機：5-1221

道税の納め忘れはありませんか？

北海道宗谷総合振興局では、自動車税などの道税を納期限が過ぎても納付されていない方について、勤務先への給与照会や金融機関への預貯金等の調査など行った上で、差し押さえを執行しています。

特に、今月より年度末に向けて、滞納処分を強化することとしていますので、納め忘れがある場合は、至急納税してください。

なお、納税相談は随時受け付けていますので、病気や失業など特別な事情のある方はご相談ください。

お問い合わせ先：宗谷総合振興局 税務課納税係 電話：0162-33-2520



平成31年 成人式



●とき

平成31年1月5日(土)
午後1時30分～

●ところ

国際交流施設

対象者は次のとおりです。

- ①平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれの方で、町内に在住している方。
- ②上記期間中に生まれ、町内中学校の卒業生で、保護者が町内に在住している方。
- ③町内の学齢簿により抽出し、町外学校を卒業しているが、町内に保護者が在住されている方。
- ④町内の中学校を転校し、町外の中学校を卒業しているが、町内に保護者が在住されている方。

■平成31年 成人式対象者一覧

地区	氏名	地区	氏名
1条	蓮沼隆介	開進	藤門かれん
	本田優人		冨谷匠
4条	広田健吾	幌延	熊澤沙友里
	永瀬未玖		西澤颯太
	佐野由宜		高橋修也
栄町	大村彩華	問寒別	開地悠介
	山本奈摘		大岩海
	佐々木正人		加藤史也
宮園町	宮下智恵	中間寒	大倉紗織
	古草瑠寿		西川渉
	渡邊萌風		恩田耕作
元町	大川拓巳	上問寒	板垣真穂
東町	山本浩輔		山田稜介
下沼	冨樫沙織		

※掲載に同意いただいた方のみ掲載しています。

※お名前が漏れていたり、幌延町の中学校卒業生または幌延町の小・中学校在籍者で、保護者が町外に転出しているが、友人と一緒に成人式に出席したいという方は、下記までご連絡ください。

お問い合わせ先：教育委員会 社会教育グループ 電話：5-1117 告知端末機：5-8817
幌延町生涯学習センター 電話・告知端末機：5-1321

トナカイホワイトフェスタ2018

今年は、トナカイそり、スノーモービル、スノーカイト操作体験会、花火大会など楽しいアトラクションが盛りだくさん！

イベントの最後にはサンタさんから子どもたちへプレゼントがありますので、ぜひご家族で遊びに来てください。



日時：平成30年12月16日(日)
11:00～17:00

場所：幌延町トナカイ観光牧場

お問い合わせ先：
産業振興課 企画振興グループ
電話：5-1113
告知端末機：5-8814

【広報・調査等交付金事業】

第3回工作実験教室

『ジェルキャンドルをつくろう』

日時：平成30年12月9日(日)

午前の部 10:30～11:30

午後の部 13:30～14:30

場所：ゆめ地創館1階 多目的室

参加費：無料

定員：各部30名

対象：幼児から

※小学3年生までの児童は保護者が同伴してください。

申込方法：電話または参加申込書に必要事項を記入の上、FAX送信によりお申し込みください。

※詳細については、別途、チラシ・ポスター・告知端末機をご覧ください。

申込先：ゆめ地創館

電話：5-2772 FAX：5-2488

主催：幌延町(産業振興課 企画振興グループ)

協力：幌延深地層研究センター



※今月号は、「診療所だより」を休載させていただきます。



まちの話題



📷 秋の全道火災予防運動

📝 北留萌消防組合消防署幌延支署では、10月15日から31日までの「秋の全道火災予防運動」に併せ、15日に、消防車両や危険物安全協会のタンクローリーなどで幌延市街と問寒別市街をパレードし、火災予防の啓発運動を行いました。24日には、幌延町女性防火クラブが、街頭でチラシ等を配布しながら「火の用心」を呼び掛けました。

10月15日

10月24日



10月24日

10月25日

📷 講演会

「これからの人生のそなえ」 ～エンディングノートの書き方～

📝 終活コンサルタント おおたに さえこさんをお招きし、保健センターで講演会が開催されました。

参加者たちは、冒頭で健康運動指導士 中島 まなみさんによるシナプソロジー体操で頭と体をほぐした後、おおたにさんから前回の講演に引き続いて生前整理の大切さについて説明を受けてから、エンディングノートの利点や書き方について、配布されたエンディングノートに実際に書き込みをしながら、理解を深めました。



📷 退牧

📝 10月24日に町営草地問寒別団地、25日には南沢団地で退牧が行われました。夏の間、町営牧場で放牧されて大きく育った427頭の牛たちは、牽引されて時折抵抗しながらもトラックに乗り込み、各酪農家の牛舎へ戻っていききました。



11月2日
金



【開基120年記念事業】
【平成30年度舞台芸術鑑賞事業】

東京ブラススタイル ブラスタ・パーティ in ほろのべ

11月2日と3日に国際交流施設で、ガールズブラスユニット「東京ブラススタイル」のコンサートが開催されました。コンサート初日は、ビッグバンド編成を含む大人向けの公演、翌日は幌延中学校吹奏楽部との合同演奏を含む華やかなスタイルの公演でした。

アニメソングをはじめとするなじみ深い楽曲が、



賑やかなパフォーマンスで演奏され、来場者は楽しいステージに魅了されていました。



11月3日
日



幌延中学校吹奏楽部 第7回定期演奏会



国際交流施設で、幌延中学校吹奏楽部の定期演奏会が開催されました。

ほぼ満席となった会場では、流行のポップスや北海道吹奏楽コンクールでの演奏曲など、10曲以上が熱演されたほか、笑いを誘うたくさんの企画が披露され、客席は最後まで大盛り上がりでした。



10月27日
日

10月27日
日



問寒別地区 町民文化祭



問寒別地区の町民文化祭が問寒別生涯学習センターで開催され、個人出展者や各サークル・団体の作品、活動写真などが展示されました。

その他にも、問寒別釣り倶楽部によるヤマベ酒の試飲コーナーや、食生活改善推進協議会による試食コーナーなどが設けられ、目も舌も楽しめる文化祭でした。



10月28日
月

11月4日
日



【開基120年記念事業】 幌延町開基120年記念植樹会

開基120年記念事業として、森林を大切に守り育み、豊かな緑をつくる意識を高めることを目的に、ふるさとの森で幌延町開基120年記念植樹会を開催しました。来賓、幌延市街地区の皆さんなど約50名が参加し、エゾヤマザクラ60本、イタヤカエデ60本の苗木を一本一本丁寧に植えました。





11月10日



NPO法人研修会 「幌延で暮らし続けるために」



町主催のNPO法人研修会が国際交流施設で開催されました。

研修会では、NPO法人ひろしまね理事長代表理事 安藤 周治さんを講師にお招きし、「『ここで暮らし続けたい』の思いをつなぐ～地域の暮らしを守り 創る 次の時代へ～」をテーマとした講演が行われました。

安藤さんは、自身のNPO活動の体験談を交えながら、近年求められている「暮らしよさ」を実現する有効な手段の一つとして、住民が自ら運営する「もう一つの役場」を提言していました。



10月25日～31日

11月2日～7日



幌延町 少年少女文化祭



少年少女文化祭が、10月に幌延町生涯学習センターで、11月に問寒別小中学校第2体育館で開催されました。文化祭は、絵画、立体造形、書写の3部門に分かれ、町内各学校の児童・生徒たちによる、オリジナルティに富んだ作品が並びました。



10月27日

11月10日



問寒別へき地保育所おゆうぎ会・ 認定こども園おゆうぎ会



10月に問寒別へき地保育所で、11月に認定こども園でおゆうぎ会が開催されました。保護者やおじいちゃん、おばあちゃんが見守る中、凝った衣装に身を包んだ子どもたちは、愛くるしさいっぱい、練習してきた歌や演奏、劇を披露していました。



▲問寒別へき地保育所

認定こども園▶

水道の凍結等にご注意ください

寒さが一段と厳しくなり、水道凍結が発生する時期となりました。冬期間は、室内が暖かくても床下などは非常に冷えていますので、「水抜き（水落とし）」をしっかり行い、凍結による水道管の破裂や断水に注意してください。

－こんなときは注意！－

- 外気温がマイナス4℃以下になったとき
- 旅行などで家を留守にするなど長時間水道を使用しないとき
- 1日中外気温が氷点下の「真冬日」が続いたとき

凍結予防等については、町ホームページに掲載していますので、そちらをご覧ください。

お問い合わせ先：建設管理課 管理グループ（上下水道係）
電話：5-1116 告知端末機：5-8816

町内タクシー事業者による貨客混載輸送の開始について

国は、自動車運送業の担い手確保や、人口減少に伴う輸送需要の減少が深刻な課題となっている過疎地域等において、人流・物流サービスの持続可能性を確保するためには、従来の自動車運送事業のあり方とは異なる新しい事業展開を可能にし、その生産性向上を図っていくことが必要であるとして、平成29年9月1日以降の許可申請から自動車運送業の取り扱いにおける規制緩和を行いました。

具体的には、従来の自動車運送業の縦割りにとらわれず、乗り合いバスについては全国で、貸し切りバス、タクシー、トラックについては過疎地域において、旅客運送と貨物運送事業の、いわゆる「かけもち」を行うことができるようになりました。

この規制緩和により幌延町内のタクシー事業者は、北海道運輸局から貨物輸送の認可を受け、宅配事業者と輸送に係る契約を締結し、貨客混載輸送として、近々、各ご家庭への荷物配達が始まることとなります。なお、配達区域は幌延市街区域に限定され、当面、集荷等は今までどおり町内の宅配便代理店等での受け付けとなります。

【タクシー】



荷物を運ぶことを可能とする
(貨物自動車運送事業の許可を取得)
※過疎地域に限る

※ 貨客混載とは…

自動車運送事業が旅客と貨物の輸送それぞれに特化してきた従来のあり方を転換し、サービスの「かけもち」を可能とするもので、今までは「人」と「荷物」の輸送を同時に行うことは、法律によって原則禁じられていました。それを、乗り合いバスについては全国で可能に、貸し切りバス、タクシー、トラックについては過疎地域で可能にするものです。

狙いは、主に過疎地域において事業困難となっていた貨物輸送事業と、旅客輸送事業を共に経営的に底上げしようというものです。とりわけ過疎地域では、鉄道輸送・バス事業の便数が少なく、乗客の減少により廃止の危機にさらされている路線が数多く存在しています。

お問い合わせ先：住民生活課 生活環境グループ
電話：5-1115 告知端末機：5-8812

情報

インフォメーション

運転免許更新時講習のお知らせ

優良運転者講習 (30分)

- 12月4日(火)13時から
天塩町社会福祉会館
- 12月8日(土)13時から
豊富町定住支援センター
「ふらっときた」
- 12月15日(土)13時30分から
遠別町生涯学習センター
「マナビィ21」

一般運転者講習 (1時間)

- 12月8日(土)14時から
豊富町定住支援センター
「ふらっときた」

違反運転者講習 (2時間)

- 12月8日(土)15時30分から
豊富町定住支援センター
「ふらっときた」

十月定例俳句会作品

薄き日を集めてほのと赤い羽根
旅すがら胸にいたたく赤い羽根
赤い羽根登山帽子を友として
ふんわりと愛の花咲く赤い羽根
スーパリーの入口で待つ赤い羽根
赤い羽根早や冷えて来し小銭入れ

幌延ほおずき俳句会

田中 徹男
佐藤 光朗
富樫 とも子
熊谷 千恵子
横山 貞雄
富樫 堅一

暴風雪に備えて

宗谷地方もいよいよ本格的な冬の季節を迎えました。今回は、「暴風雪」についてのお話をします。

暴風雪に伴う災害は、猛ふぶきによる視界不良、吹きだまりによる交通障害や歩行困難、暴風による飛散物での家屋等損壊、停電などがあります。北海道では、図のように暴風雪災害が繰り返し発生しています。ここ数年で最も被害が大きかったのは、平成25年3月2日～3日の災害で、道東で9名の方が亡くなり、500台以上の車が立ち往生しました。

気象台では、内陸の広い範囲で風速20メートル以上の暴風雪が予想される場合は、「数年に一度の猛ふぶきとなるおそれがあります。外出は控えてください」のキーワードを用いた「見出し」のみの気象情報を発表し、嚴重な警戒を呼び掛けることがあります。

こうした「数年に一度の猛ふぶき」のキーワードを用いる場合は、2～3日前から段階的に防災気象情報を発表し注意・警戒を呼び掛けます。

暴風雪災害は、晴天から悪天へと天気が急変したときに特に多く発生しています。暴風雪が予想される場合には、今の天気が良くても油断することなく、最新の気象情報や道路情報などを事前に十分確認してから行動するようにしましょう。



お問い合わせ先：稚内地方気象台 電話：0162-23-2679

地域おこし協力隊通信

vol.36

あたたかい部屋と布団が恋しい季節になりました。皆さま、お元気でしょうか？ 地域おこし協力隊の青柳です。

夏の間溜まった疲労に天候不順が続く、体調をくずされる方も多いようです。どうぞご自愛くださいませ。

協力隊就任以来3年目を迎え、残すところ任期が約4カ月となりました。現在の業務は5月1日にオープンした、幌延駅舎内ホロカル(移住情報PR支援センター)での観光案内、コーヒー販売、町民乗車票・グッズ販売などや、週に1回～2回、秘境駅・無人駅や湧水地のパトロール実施が主体となっております。

各駅では環境整備として清掃を行い、駅備品やホーム、外観の確認と駅ノートや利用者へ聞き取り調査などによる利用者調査をしています。無人駅を訪問されましたら、ぜひ、有志が提供する駅ノートに記入をお願いします。秘境駅ランキング53位の雄信内駅は、天塩町雄信内署の管轄であり、過去に備品盗難が発生したことから、雄信内署長さんが巡回・警戒を実施され、共同で作業を行うこともあります。見かけましたら、どうぞお声掛けください。

町の皆さまが稚内や名寄へ行かれる際は、お得な町民乗車票をぜひご利用ください。通常のキップは、お客さまとJR北海道さまの契約になりますが、乗車票はJR北海道さまと幌延町の企業契約になりますので取り扱いが異なります。ホロカルカウンターに備え付けの書面や券面に記載された事項をよく確認されて、お求めくださいませ。

お得な町民乗車票の制度が末永く続きますよう、皆さまのご協力をお願い申し上げます。



▲清掃後の上幌延駅

【年金Q&A】よくあるご質問

Q. 「ねんきん定期便」とはなんですか？

A. 「ねんきん定期便」は、保険料納付の実績や将来の年金給付に関する情報を分かりやすくお知らせし、現役世代、特に若い世代に年金制度に対する理解を深めていただくことで、国民の年金制度に対する信頼を向上させることを目的として送付されています。

Q. 自分の基礎年金番号の確認方法を教えてください。

A. 基礎年金番号は、以下の書類でご確認いただけます。

- ①年金手帳（青色） ②基礎年金番号通知書 ③国民年金保険料の口座振替額通知書
- ④国民年金保険料の納付書 ⑤年金証書 ⑥各種通知書等（額改定通知書・振込通知書等）
- ⑦平成28年度以前のねんきん定期便（平成29年度以降のねんきん定期便には基礎年金番号の記載がありません。）

上記書類で確認できない場合は、

- ・2号被保険者の方（会社員の方） お勤め先の総務関係部署に確認を!
- ・1号および3号被保険者の方（自営業や主婦の方等） 「ねんきん定期便・ねんきんネット専用番号」(0570-058-555)にお電話願います!その際、本人確認が必要ですが、平成29年度以降のねんきん定期便をお持ちの場合は、照会番号で本人確認が可能ですので、お手元にご用意願います。ねんきん定期便が無い場合も、氏名、生年月日、住所等で本人確認可能です。その後、基礎年金番号が記載された書類が郵送されます。

※年金手帳や年金証書がお手元に無い場合は、役場窓口や年金事務所で再発行の手続きを行うこともできます。（詳細は下記Q&Aをご確認ください。）

Q. 年金手帳や年金証書を紛失した場合は、再発行できますか？

A. はい、できます。

年金手帳や年金証書の再交付は、役場窓口もしくは年金事務所でお申し込みいただくと、後日郵送されます。

なお、緊急性の高いものに限り、年金事務所の窓口での交付が可能です。ご本人（本人確認可能な身分証明書を持参された場合に限る）もしくは、次の代理人の方に限ります。

- ・社会保険労務士、社会保険労務士の代理の方
- ・法定代理人（法定代理人であることが証明できる書類が必要）
- ・事業主、事業主の代理の事務員（事業主を通じて申請書を提出されたもの）

Q. 年金の見込額を確認するにはどうすればいいですか？

A. 年金の見込額を確認したい場合は、次のような方法でご確認願います。ただし、②③についてはお申し込みの後、郵送となります。なお、共済組合が支給する年金の見込額は試算できません。

- ①「ねんきんネット」の年金見込額試算
- ②日本年金機構管理の個人記録に基づいた「年金見込額試算」
- ③日本年金機構管理の個人記録に基づいた「年金加入記録照会・年金見込額試算」（電子申請）

※②③については50歳以上の方が対象です。

②は「ねんきんダイヤル」(0570-05-1165) から、③は日本年金機構のホームページからお申し込みください。

Q. 年金の支払月はいつですか？

A. 年金は年6回に分けて、2月、4月、6月、8月、10月、12月に前月までの2カ月分が支払われます。（例：4月に支払われる年金の内訳は2月と3月の2カ月分です。）

お問い合わせ先：稚内年金事務所 電話:0162-32-1941

または役場保健福祉課 戸籍福祉グループ 電話：5-1115(内線166) 告知端末機：5-8813

町民くらしのカレンダー 12月 (Dec)

注：保セ=保健センター 子セ=子育て支援センター
 生セ=幌延町生涯学習センター 問保=問寒別へき地保育所
 東ス=東ヶ丘スキー場 総体=総合体育館

1 土	運動能力テスト/子ども運動教室 10:00~12:00 (総体) 幌延町生涯学習センター休館 (ワックス掛け作業)	17 月	
2 日	チャレンジ教室「クリスマスリースを作ろう」 9:00~11:30 (生セ)	18 火	親子リズム体操遊び 10:30~11:30 (こども園)
3 月		19 水	つぼみひろば 10:30~11:30 (子セ)
4 火	つぼみひろば 10:30~11:30 (子セ)	20 木	めばえ・わかばひろば 10:30~11:30 (子セ)
5 水	めばえ・わかばひろば 10:30~11:30 (子セ) すくすく健診 13:15~ (保セ)	21 金	
6 木	ますます健康教室 13:30~ (保セ) クリスマス会 10:00~11:00 (問保)	22 土	東ヶ丘スキー場オープン (予定) 低学年スキー教室/子ども運動教室 18:30~19:30 (東ス)
7 金	【問寒別出張診療日】 クリスマス会 10:00~11:00 (こども園)	23 日	天皇誕生日
8 土		24 月	振替休日
9 日	第3回工作実験教室『ジェルキャンドルをつくろう』 午前の部10:30~11:30 午後の部13:30~14:30 (ゆめ地創館)	25 火	【心療内科・精神科診療日】 消防歳末特別警戒 (~12/31)
10 月	【心療内科・精神科診療日】	26 水	各小中学校終業式 こども料理教室 10:00~ (保セ) 低学年スキー教室/子ども運動教室 18:30~19:30 (東ス) 英会話教室 19:00~20:30 (生セ)
11 火	子育て講座 10:30~11:30 (子セ)	27 木	各小中学校冬休み (~1/20) 幌延町消防団年末警戒 20:30~22:00 (幌延) 20:00~22:00 (問寒別)
12 水	ぱくぱくきつず 13:30~ (保セ)	28 金	御用納め 幌延町消防団年末警戒 20:30~22:00 (幌延) 20:00~22:00 (問寒別)
13 木	はつらつ教室 9:45~ (保セ)	29 土	幌延町消防団年末警戒 20:30~22:00 (幌延)
14 金		30 日	幌延町消防団年末警戒 20:30~22:00 (幌延)
15 土		31 月	大晦日
16 日	トナカイホワイトフェスタ2018 11:00~17:00 (トナカイ観光牧場)		

平成31年 新年交礼会

と き 平成31年1月7日(月)
午後5時30分~
ところ 国際交流施設

★お悔み申し上げます
 加藤 重松さん(101歳) 1条北2
 五十嵐 満さん(70歳) 問寒別
 遠藤 さちさん(78歳) 1条北2
 三浦 弘子さん(79歳) 1条北2
 山中 朝夫さん(78歳) 上問寒
 梅津 正昭さん(51歳) 1条北2
 村上 裕一さん(67歳) 幌延

戸籍の窓

◇幌延町社会福祉協議会へ
 (香典返しの一部)
 加藤 タカさん(夫) 幌延
 五十嵐 亜矢子さん(夫) 問寒別
 梅津 政子さん(夫) 1条北2
 山中 富子さん(夫) 上問寒

ご寄付ありがとうございます
 10月



開基120年記念特集

No.9

「北緯45度の大地に生きる動物たち」

撮影・文：富士元 寿彦氏

「森の哲学者は名ハンター エゾフクロウ」

雪が積もり始めた安牛の山林に出かけました。ハルニシの大木にある樹洞が埒（わぐら）の、エゾフクロウを撮影するためです。別の埒もあるので、いない時もありますが、この日は夫婦が仲良く寄り添い寝ていました。

昼間の眠たげな顔が、物思いにふけっているようにも見えるため、「森の哲学者」とも呼ばれています。それで、おっとりとした性格に思われそうですが、実際は気性が荒い夜の猛禽で、「ノネズミ捕りの名ハンター」です。



ほろのべの裏窓

今年も残すところあとひと月となりました。12月は、年賀状を書き終えてクリスマスを迎え、年末には大掃除！そして毎日のように雪かきと、すること盛りだくさんの月になるはずですが、皆さんの準備はできていますか？さて、今月号のまちの話として掲載した「おゆうぎ会」。

かわいいう衣装に身を包み、ステージ上で無邪気に踊り、演技する姿はまさにアイドル（ちよっと前まではエンジェル）！認定ごも園では、幕が閉じる際に観客席に手を振るなど、ファンサ（？）も見られます。将来の学芸会・学校祭でのパフォーマンスにも期待していますよ。

● 広報へのご意見・ご要望をお寄せください ●
総務財政課総務グループ
電話 5-1111 / 告知端末機 5-8811



男 1,186 (-9)
女 1,149 (-1)
計 2,335 (-10)

(平成30年10月末日現在)
※()内は前月比

世帯数 1,239 (-8)



初めまして！只今人見知り真っ最中の「ゆうせい」です😊ハイハイとつかまり立ちをマスターして毎日イタズラをして遊ぶこと、キリンのおもちゃが大好きです♡これからも元気いっぱいたくましく育ちます☆どうぞいみなさんよろしくね♪

山田 結聖くん
（平成30年3月24日生・上岡寒）
お父さん 龍 弥さん
お母さん 尚 美さん



患者輸送車両がワゴン車に変わりました！

これまで、患者輸送バスとして親しまれてきたマイクロバスは、平成15年10月の導入から、主に問寒別～幌延間の住民輸送のため15年間・走行距離約31万km（地球約8周分）にわたり活躍してきましたが、車両老朽化により10月31日から普通乗用ワゴン車タイプ（10人乗り）の新車両に変更となりました。

新車両は、愛称を「あかえぞ」として、町の木である「アカエゾマツ」と町キャラクター「ブルピー」を配したステッカーを前後左右に貼っています。



これまでのマイクロバスと同様、皆さまに親しまれる車両となりますことを期待しています。

なお、ご利用方法はこれまでと同様で、雄信内以北の道道256号豊富遠別線沿い以外でご乗車希望の方は、前日までにご連絡ください。

皆さまのご利用をお待ちしています！

お問い合わせ先：住民生活課 生活環境グループ 電話：5-1115 告知端末機：5-8812